

朝晩の急激な冷え込みに、重い腰をあげて冬布団を出しました。年末ムードが近づいてきましたね。

季節のお話 ～ ボジョレーに乾杯！ワインの歴史 ～



11月といえばボジョレーヌーボーの解禁日ですね！

ある調査によると日本のワインの消費量は年間2.4リットルで世界19番目とか。アジアの中ではトップの輸入量といわれています。

ワインの日本文化への登場は古く室町時代の『後法興院記』に「チンタ」という飲み物の記述があり赤ぶどう酒の事だと言われています。その後も有名な宣教師フランシスコ・ザビエルから大名への献上品とされたり、九州征伐で博多に立ち寄った豊臣秀吉がポルトガル船でワインを供されるなど戦国時代を通じて一部の特権階級には徐々にワインが広まっていきました。時を経て明治時代に入ると、明治政府の政策の一環として日本でも本格的にワインの醸造が始まります。外国産ブドウの苗木を輸入し、東京の内藤新宿試験所と三田育種場で育成栽培が行われました。さらに全国でブドウ栽培が奨励され、中でも江戸時代からブドウの名産地であった山梨では1874年（明治7年）にはワインを醸造。これが産業としての国産第一号のワインでした。

ワインは長寿健康に効果があると言われますが、くれぐれも飲みすぎにはご注意ください！

気になるニュース ～ 国土交通省 液状化マップのソフト無償配布 ～



国交省の国土技術政策総合研究所は、宅地の液状化被害の起きやすさを地域ごとに示した「液状化マップ」の作製ソフトの無償配布を始めた。ボーリング調査の結果に基づき震度5程度の地震による液状化の危険度を3段階に色分けして示す。従来は、計算に専門的な知識が必要だったが、ソフトを使えば容易に精度の高い地図を作れる。

液状化マップは洪水のハザードマップなどに比べて整備が遅れており、同省は普及の一助になるとみている。

東京都不動産協会ニュースより



* 西荻グルメ * 一心 (いっしん)



最近オープンの居酒屋さんです。
カウンター席や座敷もあって充実した空間。
気合いの入った大将を中心に、若いスタッフが
元気に気持ちよく接してくれます。
お一人様から家族連れまでOKです。

杉並区西荻北3-30-13 1F
Tel : 03-6765-0071

